

2020 年度 通信制高等学校第三者評価

評 価 報 告 書

登録認定第 005 号

学校法人東海大学

[東海大学付属望星高等学校]

[通信制課程]

2021 年 1 月 9 日

特定非営利活動法人全国通信制高等学校評価機構

提出された各種資料及び2020年12月1日、12月6日に実施した現地調査の結果、貴校通信制の課程の評価は次のとおりとなりました。

学 校 概 要

東海大学付属望星高等学校は1959年東海大学付属高等学校通信教育部として開校され、日本初の放送を利用した通信制高等学校である。1963年に東海大学付属望星高等学校として独立するとともに1975年に広域制、1979年に技能教育施設との連携を開始している。技能教育施設との連携方法は連携方式（主として面接指導を技能教育施設で行う方法）及び通信方式（実施校と同一方法）の二通りの教育方法で行っている。2021年には新校舎完成のほか、レポートの電子化に取り組む予定である。

【建学の精神】

創立者の松前重義によって唱えられた次の言葉が東海大学の学園の原点となっている。

若き日に 汝の思想を培え
若き日に 汝の体軀を養え
若き日に 汝の智能を磨け
若き日に 汝の希望を星につなげ

これにより、身体を鍛え、知能を磨くとともに、人間、社会、自然、歴史、世界等に対する幅広い視野をもって、一人ひとりが人生の基盤となる思想を培い、人生の意義について共に考えつつ希望の星に向かって生きて行くこと、創立者の精神を受け継ぎ、明日の歴史を担う強い使命感と豊かな人間性をもった人材を育てることにより、「調和のとれた文明社会を建設する」という理想を掲げている。

【教育目標】

大学進学を目的とした難度の高い教育指導から、基礎学力を養成する教育指導まで、幅広い層に適応した教育環境を提供するといった本校の教育の特色の維持向上と従来のスクーリング以外に、登校してレポート作成指導や進路指導等を受けることができるなど、大学付属の望星高校にしかできない、生徒・保護者一人ひとりの希望や夢に柔軟に応え、将来への夢を描ける高校を目指す。

【学校の特色】

①「高校現代文明論」を中心とした教育の推進と定着

文系・理系の領域を融合した幅広い知識と国際性豊かな視野を育成し、
教養

ある現代市民として調和のとれた文明社会の建設に大きな役割を果たせる

人材育成の基盤となる教育課程の核としている科目

②完全二学期制 「春学期（4～9月）秋学期（10～3月）」

- ③ 高校通信教育講座を自宅のパソコンで視聴
- ④ 高校通信教育講座視聴・添削指導・面接指導を通じた継続的教育
- ⑤ 大学の付属高校として、上級学校への進学対応に必要な科目の開講
- ⑥ 学校行事・生徒会活動・部活動を通じた豊かな人間性の育成

総 合 評 価

適

学校運営に関しては、教育活動を行う上で十分な教職員が配置されており、教員免許状や更新の管理は適切に行われている。特に養護教諭とスクールカウンセラー（非常勤）の配置は高く評価できる。

教職員研修も計画的に実施されているとともに技能教育施設との関係も指導マニュアルを作成し、共通理解がなされた指導体制になっている。学校評価や情報公開については、自己評価や教育環境がホームページを通して広く公開されている。生徒募集及び施設・設備、表簿等の管理も適切に行われている。

教育課程に関しては、関係法令に即して編成されており、生徒の興味関心や進路希望を考慮した多様な選択科目が設定されている事は評価できる。添削指導、面接指導、試験も適切に行われている。

独自の教育システムである、「高校通信教育講座」は数学Ⅲ等を含めほぼ全ての教科・科目が提供されており、これにより実施校及び通信方式の技能教育施設でメディア等利用による6割減免を実施している。また、連携方式の技能教育施設では減免をしていない。

総合的な探究の時間は多様な探究科目が設定されていることが評価できるとともに、特別活動も適切に計画実施されている。

生徒支援に関しては、進学希望の生徒に対する学園独自の模試や事前指導等を積極的に実施していることは評価できる。特別な支援を必要とする生徒への相談会や心の交流として教員と保護者が一緒に研修を受ける等、学校と保護者が一体となった支援体制を整備している点や別設定で時間割を作成し個別指導を行うオープンルームは生徒に寄り添った指導であり、高く評価できる。

以上、全ての観点において、本機構の評価基準を満たしていると判断します。